

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (主幹兼治水係長 小西克彦)	内線	4408 (4437)
------	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S55		現計画	再評価時点
事業名	統合一級河川整備事業 (一) 揖保川水系山根川	着工年度	S55	総事業費	42億円	42億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	23億円	23億円
事業区間	龍野市日飼～末政			完成予定年度	H24	-
所在地	龍野市			進捗率 (内用補進捗率)	61%(76%)	54%(69%)

事業の目的		事業内容				
<p>当該河川は龍野市の市街地を流れる河積が非常に狭い河川である。昭和51年9月台風17号の浸水被害(浸水面積230ha、浸水家屋480戸)等、流域の集落は過去から頻繁に浸水被害に見舞われてきた。</p> <p>このため、昭和51年9月台風17号の洪水に対応した治水安全度1/10を確保することとし、断面拡幅を主とした河川改修を行い、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保するものである。</p>		計画流量	$Q = 40\text{m}^3 / \text{s}$ (治水安全度1/10：林田川合流点)			
		事業内容	$L=1,800\text{m}$ $W=11.4\text{m} \sim 10.8\text{m}$ 築堤、護岸、掘削 鉄道橋1橋、 道路橋7橋、井堰2基等			

進捗状況	<p>昭和55年度に着手し、これまでに掘削・護岸等による河積拡大を行なっている。</p> <p>再評価時点(平成10年度)から現在まででは(市)山根橋上下流部の改修を実施し、これにより、当該区間の流下能力を計画流量の10%から40%へ向上させた。</p> <p>現在は上流の水田地帯の改修に先立ち用地買収を促進中。今後は、残り区間の用地買収、河道掘削、横断構造物の改築を実施し、一連区間の治水安全度を向上させた後、下流端から河床掘削を実施。平成24年度に事業完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在検討作業中である。</p>
------	---

評価視点	評価結果の説明
(1) 必要性	<ul style="list-style-type: none"> 当該区域は、南北をJR姫新線と山地に、東西を揖保川、林田川に挟まれる地理的条件に加え、全体的に低地であることから浸水被害が頻繁に発生しており、浸水区域内に存在する多数の人家、公共施設(公民館、保育所、幼稚園、小学校、中学校、市道、県道)を浸水被害から守るため、継続して事業を実施する必要がある。
(2) 有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> $B / C = 2.4$ 山根川は龍野市中心部の東側に位置し、周辺は全て市街化区域であり、住宅需要の高まりから土地区画整理事業が予定されていることから、まちづくりとの連携を図ることで効率的な事業執行が可能である。
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 将来の周辺土地利用を視野に入れ、親水性に富んだ多自然型川づくりを行なう。
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> 河積が非常に小さく、流域の地理的要因により浸水被害が頻繁に発生していることから、残事業区間を早期に改修し被害防止に努める必要がある。

再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。
---------	------	------	---------------------